



みはし

2月号 No. 10
令和7年1月31日
さいたま市立三橋小学校



〈2月の生活目標〉

そうじをていねいにしよう

校内研修への取組から(個別最適な学びと協働的な学び)

校長 梶山 崇

寒い日が続いておりますが、子どもたちは学習に運動に意欲的に取り組んでいます。

今、学校では児童が個別最適な学びができるよう学習指導を行っています。個別最適な学びとは、学習者である各児童生徒が、自己の学習進度を調整しながら、それぞれが違った方法で学習を進める学習のことをいいます。文部科学省に設置されている中央教育審議会でも、『「令和の日本型教育」の構築を目指して』の答申を出し、個別最適な学びと協働的な学びの実現の必要性を提唱しています。本校でも個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指して、研修に取り組んでいます。

実際に1年生の算数の授業から個別最適な学びの取組の例を紹介します。課題は「13-6の計算のしかたを考えよう」です。はじめに、その課題に対して、「一人で課題に取り組む」「友だちと課題に取り組む」「先生と課題に取り組む」など、学習方法を自分で選び、「ブロックを使って考える」、「図を使って考える」、「さくらんぼ図を使って考える」、「バナナ図を使って考える」など自分で考えた課題の解決方法に取り組めます。次に、学習方法が同じグループの子どもたちに自分で考えた課題の解決方法を伝え合うなど、友だち(先生に伝える場合もあります)と学び合いをします。最後にクラス全体に自分で考えた課題の解決方法を発表します。1年生の子どもたちが自分の考え方を友だちに説明するなどの学習活動はたいへん意義があります。

なお、学年が上がってくると児童は解き方を調べたり、他人の考え方や自分の考え方を比べたりするときに教育委員会から貸与されているタブレット端末を積極的に使っています。

学校では、これからもこのような「個別最適な学び」、「協働的な学び」に積極的に取り組めます。なお、漢字など、じっくりと取り組む学習活動には電子黒板等を使い、教師が一斉に教えるなど、学習内容に応じた最善の方法で子どもたちに指導、支援をしております。児童の学習には今後も保護者のみなさまのご支援が必要となります。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

※出典:「個別最適な学び」と「協働的な学び」については文部科学省 Web ページより一部参照

今月の三橋っ子

〈競書会 1月8日(水)~10日(金)〉



各学年ともに、新年の思いを乗せて、今までの練習の成果を出すべく、競書会を行いました。自分の思い描いた作品ができた満足げな表情のお子さんが多く見られました。

〈特別支援学級作品展見学1月24日(金)〉



特別支援学級の児童の作品展が、大宮区役所にて開催されました。わかくさの子どもたちは、自分たちの作品だけでなく、他校の作品に興味津々の様子で眺めていました。行き帰りはバスに乗り、公共マナーについてもしっかりと学習できました。

〈みんななかよしの会 1月27日(月)〉



来年度三橋小学校へ入学予定の保育園児・幼稚園児が、小学校に遊びに来ました。1年生の子どもたちは、立派な態度で出迎え、優しく園児に対応する姿に成長を感じました。次の学年へ上がり、お兄さんお姉さんになるという期待に胸をふくらませていました。

〈リフレッシュ工事完成迫る〉



中庭が素敵な感じで作られています。体育小屋も完成間近。長かったリフレッシュ工事。完成まであとわずか。楽しみですね。

- ◎3月10日(月)に来年度の通学班を仮編制します。当日までに、班の改編と合わせて新しい通学班のメンバーや新班長を、児童・保護者同士で確認し、準備をすすめてください。なお、近所に在住の新入学児童についても確認しておいてください。
- ◎転出の予定が生じた場合は、担任等へ速やかに御連絡ください。また、御近所で、転入の情報がありましたら、お手数をおかけしますが教頭・教務まで御一報ください。